

各位

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号： 4875 東証 Jasdaq
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号： 03-3519-5010
E-mail： info@medicinova.com

MN-029 に対する細胞増殖性疾患治療を適応とする特許承認のお知らせ

2013年10月6日 米国 ラ・ホイヤ発 ・ メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) は、細胞増殖性疾患治療を対象として、当社が出願中のデニブリン二塩酸塩 (MN-029-2HCL) に関する特許に対し、米国特許商標庁から承認の通知がありましたことをお知らせいたします。

今回の特許は、合成された化合物デニブリン二塩酸塩に対する特許ですが、デニブリン二塩酸塩による固形癌などの細胞増殖性疾患の治療適応も特許の対象に含まれています。

今回の特許承認により、特許期間が大幅に延長され、MN-029 の固形癌を適応とする臨床開発の可能性が広がりました。

承認を受けた特許は、少なくとも 2032 年 7 月までをカバーします。

【MN-029 とは】

MN-029 は、固形癌治療のために当社が現在開発している癌組織内の血管をターゲットとした低分子の新薬です。当社は、アンジオジーン・ファーマシューティカルズ社 (英国、オクスフォード) よりライセンスを取得しております。アンジオジーン・ファーマシューティカルズ社または当社が行った前臨床薬理において、乳腺癌、大腸癌、肺癌または KHT 肉腫のネズミの実験モデルの生体内における MN-029 の作用機序及び抗癌作用を評価しました。これらの試験において MN-029 は、十分に形成されていない腫瘍血管の血管壁を損傷することにより漏出、凝固などを起こし、結果的に腫瘍内の血流を阻害し、腫瘍の壊死を起しました。また、これらの試験は、MN-029 の作用が速やかであり、体内から短時間で排出されることも示唆しました。これにより、化学療法に共通してみられる副作用が軽減される可能性があります。腫瘍内の血流の遮断は、ダイナミック造影 MRI によっても確認できました。当社が実施した 2 本のフェーズ 1 臨床治験では、腫瘍の血流を阻害するレベルの用量においても、MN-029 の認容性は良好でした。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-166 は現在、複数の適応について開発中ですが、その多くが、治験責任医師または公的機関から資金を受けて行われています。当社は、MN-221 及び MN-166 のプログラムをサポートする資金提携または戦略的提携関係を目指してディスカッションを進めています。また、その他のプログラムにつきましても、現金化を目指しております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 650、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。